

保存的治療で治癒した再発性腹膜内膀胱破裂の1例

石井 龍 山口 昌宏 宮嶋 哲匡
平 浩志

福岡大学筑紫病院泌尿器科

要旨：2009年、50歳女性が転倒して腹部を打撲し、その11日後に下腹部痛を主訴に来院した。既往歴として33歳時に子宮頸癌に対して広汎子宮全摘除術と術後放射線療法を受けていた。CTと膀胱鏡検査の所見から腹膜内膀胱破裂と診断した。尿道カテーテル留置によるドレナージと抗菌化学療法による保存的治療で治癒した。しかし2010年と2012年にそれぞれ交通事故と転倒によって腹膜内膀胱破裂の再発を起こしたが、同様の保存的治療で治癒できた。

キーワード：膀胱破裂，腹膜内，保存的治療，放射線膀胱炎